

| | |
|------------------------|--|
| 氏名 | 刑部 純平 |
| よみ | おさかべ じゅんぺい |
| 英字 | OSAKABE, Jumpei |
| プロフィール | 2023年4月 愛知みずほ大学人間科学部心身健康科学科 着任 主な保有資格：日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー NSCA-CSCS、NASM-PES、日本スポーツ協会公認テニスコーチ I 個人ウェブサイト： https://josakabelab2023.my.canva.site/ |
| 職位 | 講師 |
| 最終学歴 | 中京大学大学院体育学研究科体育学専攻 博士前期課程（修士課程） |
| 学位 | 博士（スポーツ科学） |
| 所属学会・役職 | 日本体力医学会、日本生気象学会、日本体育・スポーツ・健康学会、東海体育学会 日本アスレティックトレーニング学会、日本テニス学会 |
| 専門分野 | 運動生理学、スポーツ医学 |
| 研究テーマ | スポーツ活動時の暑熱対策、スポーツ活動時のコンディショニング |
| 主な教育・研究及び 社会的活動及び業績 | <p>【学術論文（査読あり）】</p> <p>刑部 純平, 松本 孝朗, 梅村 義久, 近藤 妃敏. 暑熱環境下における男子ラクロスの試合を模倣した運動時の身体冷却方略の検証 —ハーフタイムブレイクに着目して—. スポーツ健康科学研究. 44 : p21-31. 2022.</p> <p>加藤貴英, 寺田和寿, 刑部純平, 小西駿斗, 松本孝朗. 高校野球夏季公式戦期間中の温熱指標測定. 野球科学研究. 6 : p1-16. 2022.</p> <p>加治木政伸, 箱崎太誠, 刑部純平. 足関節底屈筋群へのフォームローリング実施時の振動の有無が関節可動域と筋の硬さに及ぼす影響. 日本アスレティックトレーニング学会誌. 7(2) : p227-234. 2022.</p> <p>Jumpei Osakabe, Miyuna Yamamoto, Takaaki Matsumoto, Yoshihisa Umemura. Addition of in-play cooling breaks during intermittent exercise while wearing lacrosse uniforms in the heat attenuates increases in rectal temperature. Journal of Human Kinetics. 82(1): p111-121. 2022.</p> <p>Jumpei Osakabe, Masanobu Kajiki, Ryosuke Inada, Takaaki Matsumoto, Yoshihisa Umemura. Wearing the men' s lacrosse uniform during an exercise simulated match in the heat increases the physiological strain index especially during the latter halves. The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine. 11(1): p9-19. 2022.</p> <p>Jumpei Osakabe, Masanobu Kajiki, Kiho Kondo, Takaaki Matsumoto, Yoshihisa Umemura. Effects of half-time cooling using a fan with skin wetting on thermal response during intermittent cycling exercise in the heat. Sports Medicine International Open. 5: p91-98. 2021.</p> <p>刑部純平, 加治木政伸, 松岡大介, 松本孝朗. 屋根による日射遮蔽効果がWBGTに及ぼす影響 —屋内外テニスコートを比較して—. スポーツ健康科学研究. 43: p69-78. 2021.</p> <p>Jumpei Osakabe, Toshiyuki Ohya, Jun Koizumi, Ryosuke Inada, Takaaki Matsumoto, Yoshihisa Umemura. Tennis singles match-play induces inspiratory muscle fatigue in female tennis players. The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine. 10(1): p33-37. 2021.</p> <p>刑部純平, 松本孝朗, 梅村義久. アイスラリー摂取時の環境温度の違いが体温と主観的温度感覚に及ぼす影響. 日本生気象学会雑誌. 57(1): p25-31. 2020.</p> <p>加治木政伸, 山下直之, 稲葉泰嗣, 中野匡隆, 渡辺新大, 刑部純平, 松岡大介, 松本孝朗. 屋根付きテニスコートの WBGT 測定 —日射遮蔽効果の検証—. 日本生気象学会雑誌. 57(1): p17-23. 2020.</p> <p>Jumpei Osakabe, Takaaki Matsumoto, Yoshihisa Umemura. Ice slurry ingestion as a cooling strategy in the heat. The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine. 8(2): p73-78. 2019.</p> <p>【学術論文（査読なし）】</p> <p>刑部純平. 遅発性筋痛が生じている骨格筋に対する即時的な筋痛緩和介入方法 —静的ストレッチング・フォームローラー・振動フォームローラーに着目した簡潔なレビュー—. 瀬木学園紀要. 22: p3-8. 2024.</p> <p>松本孝朗, 加治木政伸, 刑部純平. トレーナーのためのスポーツ医学講座（救急処置と痛みの評価と対応）熱中症の救急処置. 臨床スポーツ医学. 37(10): p1214-1225. 2020.</p> <p>刑部純平. 新たな冷却戦略の実践 深部体温の上昇を抑える. NSCA ジャパン機関誌. 25(5): p12-18. 2020.</p> |

【競争的資金】

2019年度科研費（研究活動スタート支援）：研究代表者 **刑部純平**

暑熱環境下での持久的運動能力低下と身体冷却の関係-呼吸筋機能に着目して-

2023年度科研費（若手）：研究代表者 **刑部純平**

暑熱環境下において競技中のアスリートを対象とした暑熱対策効果の検証

第43回石本記念デサントスポーツ科学振興財団：研究代表者 **刑部純平**

暑熱環境下で防具を装着して運動をするアスリートに対する実践的な身体冷却方略の検証ーラクロスに着目し

【社会的活動】

日本ラクロス協会 医科学委員

愛知県アスレティックトレーナー連絡協議会 学術委委員